

2003.6.27

第 17 号

活動報告

- 5月25日 協働のまちづくりフォーラム
(主催:福井市)
- 5月27日 幹事会
- 5月29日 LRV導入検討会議
- 5月30日 平成15年度地域環境研究所
研究助成金授与式
- 5月31日 川崎和男氏講演(ROBA協賛)
- 6月4日 まちづくり懇談会 第九回
- 6月7日 えちぜん鉄道との懇談会
- 6月15日 知事意見募集への意見提出
- 6月15日 全国路面電車ネットワーク設立総会
- 6月17日 6月作業部会
- 6月20日 えちぜん鉄道㈱株主総会
- 6月21日 アースデイふくい2003
- 6月25日 福井鉄道福武線活性化検討協議会
- 6月27日 6月例会・ROBA勉強会

今後の予定

- 6月28日(土) 夏のROBAツアーアー2003
- 7月初旬 各分科会活動開始
- 7月9日(水) まちづくり懇談会 第十回
- 7月15日(火) 7月作業部会
- 7月19日(土) えちぜん鉄道運行再開イベント
- 7月20日(日) えちぜん鉄道部分運行再開
【福井—永平寺口・西長田】
- 7月25日(金) 7月例会

会員の広場

谷口 由美子(たにぐち ゆみこ)



照手に住んでいます。車がないので自転車でがんばって、移動しています。雨や雪、風のきつい日はめげてます。車に乗らなくなつて気付いた不便な公共交通機関の存在、もっと利用しやすくなればと思っています。福井は、文化施設が散らばつてゐるため、色々な施設をつなげてほしいな。子どもたちが、独りでも利用できるように、子どもや御年寄りが、住みやすい福井になればいいな、と思っています。

堤端 充(つつみばた みつる)★1951



今年入会しましたニューフェイスです。昨年、「ふくい環境の翼」でスイスのチューリッヒの路面電車に乗りました。電車は古く小さいのですが、その便利さと安さ、表示の分かりやすさに驚くと共に、福井にもこんな公共交通機関が出来たら、車の使用も減せるのではないかと思います。また、運転マナーのよさも特筆すべきことです。車そのものが少なかったのですが、信号の無い横断歩道を渡ろうと立ち止まっていたら、車が3mも4mも手前で止まってくれます。さすが、世界で1、2位を争う「住みたい都市」という一端を実感することが出来ました。福井も「住みやすさ日本一」という名に恥じないまちに早くなつてほしいと思います。

祝 えちぜん鉄道開通記念

「ジャバニース 電車 ガール」写真展
福井鉄道・福武線／京福電鉄・永平寺線

日時 7月18日(金)～7月31日(木)
会場 福井郵便局 展示コーナー

えちぜん鉄道のスタッフとの懇談会開催

平成15年6月7日午後3時より県民活動センター研修室において、えちぜん鉄道のスタッフの方とROBAの会のメンバーで懇談会を開催しました。

えちぜん鉄道からは、見奈美専務、中村氏他新入2名の4名、一方ROBAの会は内田会長以下、16名参加しました。

えちぜん鉄道は運賃・スケジュール等を公開し、運行開始が現実のものとなりました。この懇談会は、私たちが昨年作成した「公共交通活性化アイデア集」をえちぜん鉄道の運営に活かして欲しいとの思いを伝えたいという事から実現しました。

最初に、見奈美専務より、えちぜん鉄道の営業方針やこれから行うサービスについて、資料をもとに丁寧に説明をいただきました。

その後、「公共交通活性化アイデア集」の中の①運行、②路線図・時刻表、③駅周辺・パークアンドライドの項目を中心に会員からの質問・意見に対し、えちぜん鉄道サイドの方針または思いを語るという対話形式で進められ、3時から5時まであっという間の2時間でした。

今後もこのような懇談会を開催したいという事を伝え、ROBAの会とえちぜん鉄道の連携により、公共交通が活性化されることを願って、懇談会を終了しました。

以下、主だった意見交換の概要を示します。（発言の内容等細かいところの省略はご容赦願います。）

■会員からの意見、要望 ●えちぜん鉄道からの回答

■勝山市民として、何とか橋を超えて整備してもらいたい

●気持ちは充分理解している。えちぜん鉄道に代表される地方鉄道はまちはずれを走っている例が多い。勝山市も整備発展させることを考えているようなので期待したい。

■田原町がバスと電車の結節点そしてまちづくりの観点から重要と考える

●田原町の整備の件は、コスト面で困難さはあるが現在協議中である。

■L RVの導入は？

●将来的には考えたい、田原町での直通運転についても検討したい

■パークアンドライドについて

●今沿線の自治体と協力してトータルで450台を確保しようとしている。更に運賃も15%下げて、利用しやすいえちぜん鉄道にする努力をしている。

■サイクルアンドライドについて

●沿線の自治体の協力もあり、放置自転車等の利活用で少しづつではあるが整備されつつある。

■アテンダント制について

●昼間の時間帯で乗車させ、切符の販売、沿線情報の提供等のサービスをすることを業務とする方針。

図4、5年で黒字化を目指しているが鉄道事業者としては限界があると思われるが・・・

●お客様第一をもってすれば黒字となるという精神。沿線自治体とも綿密に連携を取っており積極的なサポートは必要。毎日がノーマイカーデイという気持ちでやって欲しい。CO₂削減や交通渋滞緩和のためにも。

■コンビニ店等の店の営業は?

●これは大変難しいが、えちぜん鉄道のブランドを出して、地域へのつながりという観点からも考えたい。

■サイクルトレインについて

●秋を目途に、前向きに準備をしている。

■急行運転については

●極端に乗客が少ない駅を通過する電車も考えられる。

(文・高橋)



お疲れさん。県民会館前でハイポーズ。



人口減少下の社会资本整備拡大から縮小への処方箋 ゆうじんの部屋 書籍紹介

編者・著者代表 丹保憲仁 土木学会

1200円+税

洋の東西問わず、都市生活者は情報の交換や共同の生産活動のために狭い場所に集まらざるを得ず、都市問題の解決とは、過密問題の解決のための土地利用制限、衛生施設、交通施設の整備といった過密問題との戦いの歴史であった。

都市行政の制度や理論は、過密問題解消のためのツールは十分であるが、都市の空洞化への対処策は不十分であるとよく言われるところであるが、空洞化は逆にいえば過密問題の自然解決であり、前向きにまちづくりに活かして行きたいところである。この本は、まちづくりよりもより広い視点に立って、人口減少の問題を論じている。

しかし、地球環境等はまだ人口増加の問題が多いにもかかわらず、同じ本で論じているため、若干の理論的混乱が生じている。土木学会として人口減少を論じた野心的な取り組みであるが、もう少し的をしぼった議論が望まれるところである。

(文・美濃部)



作…塗崎耕次

編集後記……編集委員より一言！

林（編集長）

「目指せログンセラー！」電車ガール」

清水（副編集長）

「電力不足。エコバッグで一件落着！」

川口（副編集長）

「梅雨にも負けずチャリンコです」

内田（発行責任者）

「アースデイ会場で編集会議」

■ 第9回まちづくり懇談会の報告 ■

日 時：6月4日 19:00～22:00<熱い議論で遅くなりました>

場 所：駅前商店街組合事務所

参加者：ROBA/畠、川口、佐藤、谷村、佐々木陽、坂川、内田

福大/清水 まちなかNPO/村北、古市、大森 以下7人

その他/1人

議 題：

①まちなか文化施設の「カフェレストラン」の件

まちづくり福井株式会社は旧山一證券跡に多目的ホールを擁する文化施設を新築しています。その施設の1階に集客力のある魅力的なカフェレストランを出店しませんか、というものです。<情報提供に止まる>営業開始はH16年4月、80席、無休、AM10～PM12という目安の条件があります。フロアは広く相当の資金力が必要かと思います。

②福井駅前電車通り整備について

5月28日に福井駅前商店街振興組合が福井市議会議長宛に提出した要望書をもとに、これから電車通りのあり方を福井市の案と商店街の要望（受け入れ条件）について意見交換いたしました。

本件については、かねて「まちなかNPO」と議論を重ねてきましたが、基本的に軌道をはずし車と歩行者中心の空間を求めている商店街と路面電車（LRV）を活かした公共交通と歩行者中心の空間を求めているROBAの会とでは平行線のところがあります。

ROBAは、富山市でのJR富山港線の路面電車化と中心部の環状線化の話題を参考に、福井でも行動に移す時に来ている。いきなりLRVでなくとも路面電車の市内運行を足がかりにLRV導入の気運を高めたいと、協力を要請しました。

次回開催日 7月9日（水）19:00～21:00

（於）駅前商店街事務所（五十嵐ビル6F）

（文・内田）

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968 e-mail : roba@rbh.nifty.com

URL : homepage2.nifty.com/tram-fukui